介護予防・日常生活支援総合事業

高齢者 | 子ども | 若者 | 地域住民 | 障害者 | 生活困窮者 | 認知症の方 | その他

住民ボランティアによる生活支援の取組

福岡県久山町

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	9,410人
	高齢化率（R7.1月時点）	27.0%
	要介護認定率（R7.1月時点）	17.1%
	取組の予算規模（年間）	21.2万円

取組概要

- 地域のボランティアによるゴミ出し・買い物・その他（電球交換などちょっとした支援）の生活支援サービスを実施。買い物は、利用者の自宅に行き、スーパー等での買い物代行を行い、自宅まで届けてくれるというもの。買い物支援（１回500円）、ゴミ出し（1回100円）、その他の支援（1回300円）。ボランティア希望者は養成講座を受け、事業に関する理解を得た方のみ登録となる。ボランティア活動を行うとボランティアポイントを獲得し、ごみ袋など景品と交換が可能。

背景・きっかけ

- 生活支援体制整備事業の協議体で高齢者の課題の洗い出しをしたところ、移動支援、買い物支援が常に課題に挙がっていた。協議体では、ゴミ出し支援など緊急性の高い課題から議論を行っていたが、買い物支援も緊急性が高いということで対応検討に至った。
- 上記に加え、町に訪問ヘルパー事業所が1か所しかなく、コロナ禍で職員不足が深刻化し、要支援の高齢者にヘルパーが入ることが難しい時期があった。限られた資源で高齢者を支えるため、より支援が必要な方には専門職のサービスを届け、軽い方は多様な資源で支えるという棲み分けの仕組みが構築できればと考えた。

取組の経緯

- 町で仕組みを検討した内容を社協と共有を行い、プレ事業として社協にて先行的に開始してもらった。現在、利用者数やボランティア数の確保もできており、地域支援事業費にて補助を行っている。



生活支援サービスの案内資料

取組詳細

- **実施体制**
  - ✓ 社会福祉協議会が実施主体となり、町が実施費用を補助している。
  - ✓ ボランティア養成・管理、ポイントと景品の交換は社協が実施している。
  - ✓ 養成講座を年1回開催している。必要に応じて外部講師による研修を行う。
- **財源**
  - ✓ 地域支援事業（総合事業　訪問B型）として実施している。
  - ✓ 事務費として1件あたり800円と講師費用として2万円分を補助している。

成果

- 利用する高齢者の見守りにもつながっている。例えば、買い物支援に入っている方が、利用者の様子を見て、気づいたことを社会福祉協議会を通し地域包括支援センターと連携することで介護保険に早急につながった例がある。
- ボランティアの生きがいづくりにつながっている。
- 生活支援サービスの充実により、町内に住む高齢者の方が利用できるサービスを増やせた。

今後の展望

- 町内の公共交通機関はコミュニティバスしかないため、買い物をするうえで時間の制約がある。介護保険を含め買い物に対する支援では、配達支援や代行支援しかなく、自分の目で見て買いたいという人のニーズに対する支援がない状況にある。今後、移動支援に対するニーズ調査を行い、必要に応じて検討していく予定。

住民ボランティアによる生活支援の取組

福岡県久山町

取組のポイント

- **住民でも安心して支援ができる工夫**
- 住民ボランティアからは、ボランティアで貯めたポイントで有料のごみ袋等が手に入る点が好評。
- 一方で、住民ボランティアの支援における不安として、認知症の方が利用する場合、お金のトラブルの懸念があるとの意見があった。そこで対処法として、利用者の初回登録時に行うチェックリストにおいて、認知症のチェック項目に該当するかどうかを確認している。チェックリストやヒアリングの受け答えに気になる点がある場合は、地域包括支援センターに共有し、介護保険の利用が必要かを見極め、必要に応じて支援につなげている。